



## 判断の基準は まず『義(正しさ)』から

村山 盛忠

1935年生まれ。1959年同志社大学神学部大学院修了。

1964年～68年エジプトのコプト福音教会協力牧師。現在、日本基督教団大阪生野教会協力牧師。

著書に「パレスチナ問題とキリスト教」(ぶねうま舎)。訳書に「東方キリスト教の歴史」(教文館)等がある。



ガザのアハリ・アラブ病院は、パレスチナ聖公会のエルサレム管区が運営しています。数十年前から同病院を支援する会に関わってきましたが、昨年10月二度にわたるイスラエル軍の爆撃により、病棟破壊と共に数百人の犠牲者がでました。

先日あるキリスト者の集会で、次のような問いがありました。「ガザの病院では地下室にハマスを匿っているとのことだが」と。発言の背後に一方的立場の支援ではなく、両者の立場を理解し中立的支援の必要をとの批判が伝わってきたので、以下二点に絞り応答しました。

一点目はイスラエル国家設立のシオニズム(世俗的政治イデオロギー)は、パレスチナ全土でのユダヤ化を目指していること。二点目はユダヤ化に対しパレスチナでは、パレスチナ人の尊厳を求める抗議と抵抗運動が起きているということです。

まずユダヤ化の内実を記します。1948年のイスラエル建国前後から、イスラエル軍は500の村、11の町を破壊し、約百万人のパレスチナ人を追放し難民化しています。その後第一次中東戦争と第三次により多数の難民を生み出し、現在3人に1人が難民といわれています。その数720万人、うち500万人が郷里を逃れたまま帰還をゆるされず、中東諸国に居住しています。76年間イスラエル占領・ユダヤ化の現実、生命維持に不可欠な水と電気に顕著です。イスラエルにはWHOによる最低限必要量の二、三倍が供給されながら、西岸パレスチナには最低限量の75%しか供給されていません。断水、停電は日常の状況で何日間も続きます。ガザはさらに危機的状況でローソクの灯りが続いています。

ユダヤ化の厳しい現実、新たなイスラエル入植者問題でも露わです。入植者居住地確保のためパレスチナ人の家屋破壊、強制的土地取得が着々と進行中です。東エルサレムのイサウィア村で200家族が立ち退き命令を受け(2017年)、同年ヨルダン溪谷には1万2千人の入植者計画が決定されパレスチナ60家族の立ち退き命令が出されています。これらは日常的に起きているユダヤ化問題の一例にすぎません。

ユダヤ化の中でパレスチナ人の尊厳を求め、抗議と抵抗が起きるのは当然のことです。1987年12月9日ガザのジャバリヤ難民キャンプで、最初のインティファダが起きました。インティファダは「民衆抵抗運動」の意味で、抵抗と抗議を意味しています。同年12月14日には、ハマスが組織されています。ハマスは「イスラム抵抗運動」の意味で、パレスチナ解放機構の中の一つの政党です。ガザの住民が一体となり、パレスチナ人の強烈な意志として尊厳の回復を取り戻す抗議と抵抗運動として、ガザで生まれたのです。

このガザの抵抗運動は、2018年から20年初頭に向け、「帰還の権利と封鎖解除を求める大行進」(帰還大行進)を掲げ、ガザ住民が一体となり毎週金曜日に整然としたデモを行っています。最初の記録をここに記します。

「2018年4月6日：先週金曜日、ガザとイスラエルの境界線をデモ行進していた何千人もの人々にむかってイスラエル軍が発砲し、17人のパレスチナ人が殺害され、千人以上のパレスチナ人が負傷しました。この「帰還大行進」と名付けられた抗議行動は、<土地の日>(ガリラヤのユダヤ化計画・強制土地接収の抵抗運動・1976年3月30日)が最初に記念されてから42年目を迎えたことを覚えて、パレスチナ人の全ての政治党派の支援を得て複数のパレスチナ市民団体が呼びかけて行われたものでした」(サビールの祈りより)。

イスラエルは抗議や抵抗する人や組織を、テロと認定し弾圧してきました。ハマスもイスラエルによりテロ組織と認定されていますが、パレスチナ人の尊厳を求める抵抗と抗議から生まれた歴史を知ることが大切です。

パレスチナ問題に限らず、物事を判断する基準には、義・正しさからの出発が求められているのではないのでしょうか。

義・正しさとは何ですかとの問いに、辞典的解説は必要ないでしょう。わたしは次のように自問自答しています。人は死ねば全てを失う。死後も人々の内に生き続けるものがあるとすれば、それが義・正しさの判断の基準といえるのではないかと。

## 第104回 神戸YWCA定期会員集会

3月9日(土) 第104回神戸YWCA定期会員集会が開催された。

まず開会礼拝では、郡あや子さんが「私とYWCA」というタイトルで話をされた。

議事では、2023年度会員活動報告と会計報告、2024年度会員活動計画と予算、グループ活動規程の修正案が承認された。また2020年度から取り組んできた会員活動と組織の再構築の最終課題として「新会費制度」を提案。基本の会費額は変わらないが、各人のライフスタイルにあわせて選択ができる制度が承認された。参加者は22人(内、オンライン2人)、委任状50人。



定期会員集会の礼拝にて

### ■午後プログラムで Rise Up!

コロナで中止となっていたが、今年は4年ぶりに、定期会員集会の午後プログラムを開催。「大阪YWCA RUSV(Rise Up! School Visits)の活動について～包括的性教育を通して、若者をエンパワメント!～」と題して、永嶋里香さん(大阪YWCA女性エンパワメント部担当職員)に報告していただいた。同プログラムには、神戸YWCAのこども委員会プロジェクトから2人のメンバーが参加しており、神戸YWCAとしても嬉しい報告だった。

「RUSV(立ち上がれ!学校訪問)」とは、ユネスコが決める国際性教育ガイダンスに則って、25歳以下のメンバーが中高生向けに「人権教育としての性教育」を提供するもの。報告後は、席上から多くの質問や熱い感想・期待が寄せられた。このように他市YWCAと交流、情報交換できることは大きな励みとなった。(西本 玲子)

### 2024 年度標語聖句

平和を勧める人の心には喜びがある  
(箴言 12章 20節)

### 神戸YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

### 神戸YWCA ミッション

多種多様な「つながりづくり」によって、  
個と集団をエンパワーする

### 2024 年度活動目標

つながりの意味を深め、共に動こう

### 2024年度 神戸YWCA 運営委員

会長 木村 文子  
副会長 金本 美子、斎藤 明子  
書記 住田 サーラ  
会計 宮田 泰子

### 2024年度 委員会担当運営委員

世界・社会委員会 斎藤・住田  
環境・くらし委員会 金本  
ユース・エンパワメント委員会 木村・斎藤  
キリスト教基盤委員会 宮田  
機関紙編集委員会 斎藤  
定期会員集会実行委員会 宮田  
ファンドレイジング実行委員会 木村・宮田

### 会費納入のお願い

2024年度(2024年4月～2025年3月)の会費・会友費の納入をお願いいたします。2023年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

\*なお、2024年度から会費制度が変わりました。同封のご案内をご覧ください、質問などあれば事務局までお知らせください。

## まごの手ヘルパー徒然記

Hさんは90歳。数歳下の妹と、長年アパートで一緒に暮らしてきた。2人で仲良く暮らしてきたが、数年前から妹の体調が悪化。最初は妹の入浴介助でヘルパーが訪問し始めた。しかし、Hさん自身も体調悪化となり介護負担が大きいことから、ヘルパーは家事支援なども担ってきた。

今年1月、妹さんが持病の悪化で入院し、自宅に戻れず療養病棟での生活となった。Hさんの目下

の不安は、もし妹が今後亡くなったとき、葬式などの世話を1人でできるかということである。そして、1人きりになってしまう自分の今後のことも、大きな心配事だ。既に地元高知を出て長く経っているため、現在連絡がとれる親戚は、いとこの妻だという。彼女も高齢であり、関係が薄い。

訪問介護事業所としては、Hさんの不安な様子を間近で見ながらも何もできずにいる。今後、Hさ



んのような人がますます増えていくと思われる。身寄りのない方々のライフサ

ポートとして、何か神戸YWCAにおいてできることはないだろうか。長く生き、私たちを育ててくれた高齢の方々が、ひとり孤独に苦しみ亡くなっていくことを少しでも減らせたなら…。ぜひ、アドバイスを頂けたらと願う。

(まごの手職員・藤井 かえ子)



## 会員活動報告

### ●誰かの世話をするのは女の仕事？(ジェンダーグループ)

日時：3月23日(土)

発題：森恭子(神戸YWCA会員)

参加：7人(オンライン)

### ●セカンドハウスプログラム(神福のはしごプロジェクト)

利用家族：1家族(4人)

日時：4月1日～9日

場所：住吉セカンドハウス

### ●パレスチナ問題とキリスト教(キリスト教基盤委員会)

日時：4月20日(土)

講師：村山盛忠(現・日本基督教団大阪生野教会協力牧師)

場所：神戸YWCA会館/オンライン

参加：対面45人、オンライン13人

### ●世界YWCAデー2024「世界につながるYWCA」(運営委員会)

日時：4月27日(土)

場所：京都、大阪、神戸YWCAおよびオンライン

参加：43人(内、オンライン9人)

### ●5.3 兵庫憲法集会(主催：戦争をさせない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会)

日時：5月3日(金/祝)

於：みなとのもり公園

参加：5000人(神戸YWCAから8人)

### ●キックオフミーティング～YWCAってなんだろう？今の神戸YWCAができるまで

日時：6月8日(土)13:30～15:00

場所：神戸YWCA会館/オンライン

参加：11人

## エルサルバドル伝書鳩

Vol.4



エルサルバドルに来てから、1年が経ちました。直近では、経済的自立を目標に、カフェ開店を目指す農村女性向けの料理ワークショップを実施しました。読み書きや計算が難しいため、レシピの理解や材料の計測に困難が生じ、カフェ運営には課題が見えました。一方で、日常的にトルティージャを作っていることから、パン作りの作業は得意であるといった強みも見えてきました。また、5月には、世界ミツバチの日記念イベントを実施しました。ハリナシミツバチの蜂蜜や、エルサルバドルの画家



料理ワークショップ

である故フェルナンド・ジョルトの蜂モチーフのキーホルダー、国民食プサと蜂蜜のコラボ商品等が出品されました。これからの残り一年、エルサルバドルの観光価値や唯一無二のものを発見していきたいと思います。(福田百)

## 金曜日の、なだのはまエイト

ある日、気がつきました。この前庭には「香りの庭」という素敵な名前がついていることを。ラベンダー、ローズマリーなどのハーブをはじめ沈丁花や水仙、フリージャなど香る花々が咲き出して心と目を和ませてくれています。冬の間、花壇やフラワーボックスに溜まった落ち葉をかき集め整理しながら、かわいいつぼみを見つけた時のよるこび。毎回時間のかかる庭掃除ですが、楽しみです。

最初のころ「掃除して下さってるんですね。ありがとうございます」と声がかかることがありました。『えっ？なぜお礼？』と思っていると、震災後30年近くがた

ち、体力や気力の衰えた高齢の方々が増え、群れをなす鳩の糞害に悩まされても、雑草が生い茂ってもなかなか手が回らなかったとのこと。

月一度の定期清掃には30人ほどの住民が集まること、それ以外の日には自治会長が草木の剪定などを行っていることも知り、ここはみなさんにとって大事な庭なのだと思うようになりました。

このなだのはまエイト(南集会所)は、神戸市が地域活性化のために私たちに委託されたのですから、この環境も地域の方々と一緒によくしていきたい、その一助になれば嬉しいことだと思っています。

(平山 芳子)

YWCAの活動を継続するため大切なことのひとつが持続可能な経営だと思う。20年ほど前アメリカのNPOで働いていた時、ディレクターはMBA(経営学修士号)を持ち、専門のファンドレイザーとともに日々資金集めに奔走していた。銀行に移民支援の寄付を依頼する際、「彼らが教育を受け、地域で働くようになると、よい納税者になるとともにこの銀行のよい顧客になるのです」と説得する姿は、まさに資本主義の国アメリカという感じだった。同じことをYWCAですることは難しいかも知れない。しかし、神戸YWCAの次の100年を考えたとき、活動を安定して続けられるよう、財政や経営について考えることも会員である運営委員の責任だと感じる。

(住田 サラ)



2023年、10年ぶりに運営委員として神戸YWCAに戻ってきた。以前は職員だったが、会員として活動するなかで、今後どのようにYWCAの活動を継続できるか、次世代にバトンタッチしていけるかをより考えるようになった。

# 神戸YWCAへの おさそい



アクセス

\*予定は変更されることがありますので、ホームページ・SNS等で最新情報をご確認ください。

## ● わいわいデイルーム 会館

(神戸市地域拠点型一般介護予防事業)

毎週火曜日、10時～15時

対象：神戸市在住の65歳以上で、自分で通って来られる方。

\*近くの「あんしんすこやかセンター」でお申し込みください。

## ● カフェもぐもぐ その他

若年性認知症の人と仲間たちのつどい

毎月第1土曜日(次回は7月6日(土))

10時30分～14時

場所：日本基督教団神戸聖愛教会

参加費：800円(食事付)

要予約、詳細はお問い合わせください。

## ● 木曜カフェ 会館

第2・4木曜日、13時30分～15時30分

レコードで懐かしい音楽を聴きながら、

ほっこりしませんか。(1ドリンク100円～)

## ● 聖書を読む会／讃美歌を歌おうかい 会館

スウェーデン方式で聖書を読みます。初めての方大歓迎!

第1木曜日(次回は7月4日)

聖書：13時30分～14時30分

讃美歌：15時～16時

参加費：聖書、讃美歌共に各回500円

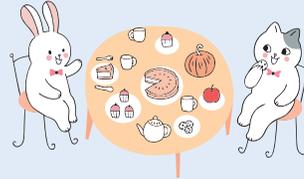
## ● 丹波太郎の新鮮野菜市とミニミニバザー (なだのはまエイト)

毎週金曜日、13時30分～14時30分

## ● みんなのカフェ(なだのはまエイト)

毎月第3日曜日、10時～12時

参加費：200円



参加：全て理事7人、監事2人  
議事内容：24年度事業計画と  
予算、23年度下半期職員賞与、  
定評議員会日時と内容、財  
政構造および組織構造改革に  
ついて、日本YWCAとの合同  
ワーキングチーム結成、23年  
度事業報告と決算、24年度上  
半期職員賞与について

(総幹事・西本 玲子)

## ■ 賛助員

増田 征子 小室 こゆみ

三浦 哲朗 平山 嘉廣

上 紀子(敬称略)

## ■ 編集後記

なだのはまエイトの野菜市  
に訪れた女性が(おもわず)「こ  
の時期、年一度の豆ごはんを  
食べるのが私の楽しみ」と最  
高の笑み。(S・I)

## ■ 学院だより

今年も7月に「夏休み勉強  
に役立つ日本語クラス」を開催  
予定である。短い期間での子  
どもたちの成長ぶりには、毎年  
驚かされる。日本語クラスの  
様子は、神戸YWCA学院の  
フェイスブックに随時掲載。  
皆さまのかわらぬご支援をお  
願いしたい(学院長・西本 玲子)



神戸YWCA公式  
Facebookページ

## ■ 保育園だより

新入園児が保育園になれて、  
時々泣き声は聞こえますが、  
スムーズに新年度が始まっ  
ています。

機嫌よく遊んでいたのに一  
番初めにお迎えに来られた  
お母さんを見ると急に「ママ  
～!」の泣き声が響きます。  
「きょうもたくさん遊んだ。楽  
しかったよ。でも今気づいた。  
大好きなママ(パパ)がいない

ことに…」というところでは  
うか。

降園時には保育士みんなで  
「またあした!」と明日につな  
がる声かけをしています。もう  
すぐ、保育室の全員にハイタ  
ッチしてから帰る姿が見られ  
ると思います。(園長・梅川 玲子)

## ■ まごの手だより

「訪問介護」は、サービス提供  
責任者4人、子育て支援コー  
ディネーター1人、ヘルパーは  
常勤1人、パート1人、登録型  
28人の体制で、月平均158人  
の利用者へのサービスにあた  
っている。

「居住支援」は、昨年度、計  
40件の入居前相談を受けた。  
住宅確保は9件。入居中の相  
談支援も実施している。

今年度から地域拠点型一般介  
護予防事業「わいわいデイル  
ーム」が、まごの手事業に移  
行することになった。

まごの手のそれぞれの事業  
が連携し、地域包括ケアを推  
進していきたいと考える。

(所長・寺内 真子)

## ■ 運営委員会報告

< 2023年度 >

3月9日第12回、新旧運  
営委員会、出席7人

【報告】●日本YWCA中央委  
員会●三市YWCA協力による  
世界YWCAデーについて【議  
事】●定期会員集会振り返り  
●運営委員会24年度計画の再  
確認●キックオフ、オープン  
ミーティング日程決め●会長、  
副会長、書記、会計の決定●  
運営委員会年間スケジュール  
決定。

< 2024年度 >

4月22日第1回、出席6人

【報告】●日本YWCA中央委  
員会●世界YWCAデー●会  
員動向【議事】●各委員会状  
況●世界YWCAデー進捗●  
理事会から報告●キックオフ  
ミーティングについて

5月11日第2回、出席6人

【報告】●日本YWCA中央委  
員会への出席について●世界  
YWCAデー●日本YWCA  
24年度研修●新会費制度進捗  
●会員動向【議事】●理事会  
報告●23年度事業報告の承認  
●キックオフミーティング内  
容、当日役割、進行スケジュ  
ール決定 (書記・住田 サラ)

## ■ 理事会報告

開催日程：第7回(2月10日)

第8回(2月26日)第9回(3

月25日)第10回(4月15日)

第11回(5月4日)第12回(5

月20日)第13回(6月1日)



応援してください

## 子ども日本語

### トータルサポート募金

外国にルーツを持つ子ども  
たちのサポートプログラム  
「勉強に役立つ日本語クラ  
ス」「はっぴー・すくーる」  
の運営費にあてます。ご寄  
付によって、子どもたちの  
参加費が無料となります。

目標額：100万円

### 神戸YWCA夏季募金

神戸YWCAの社会変革のた  
めの、以下の活動を応援し  
てください。

・HAT神戸・灘の浜プロジェ  
クト

・居住支援事業

詳しくは同封の案内をご  
覧ください。

目標額：300万円

・神戸YWCAへのご寄付  
は税額控除の対象になり  
ます。詳しくは事務局へお  
問合せください。

・振込先：郵便振替 01100-  
0-10298 公益財団法人神戸  
YWCA

振替用紙に「子ども日本語」  
あるいは「夏季募金」とご  
明記ください。

## ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、  
担い手となって働きませんか。

### ❖ ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～

パート 時給 1,100～1,200円

登録型 時給 1,000～1,400円

\*担当・寺内までお問い合わせください。

❖ 生活支援訪問  
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA  
まごの手

☎ 078-231-3156